

授業改善等に関する報告書（2024 年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

〔2024（後期）生活文化学科 生活心理専攻〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
家族と生涯発達総論	笠原 良太	おおむね肯定的な評価でよかったが、否定的な評価の学生はそもそも回答していないと思われる。丁寧な解説と興味を持続できる工夫は必要。教科書が効果的だった。もう少し自らの人生を振り返る・展望するワークの時間を増やせばよかった。
健康・医療心理学	塩川 宏郷	公認心理師科目なのでテキストを指定しましたが、テキストの内容にこだわらず臨床的な内容を盛り込みました。機材の問題で音声が聴き取りにくい点については今後改善していきます。配布資料の閲覧と動画へのアクセスおよび小テストへの回答をもって成績評価を行いました。また、manabaでの質疑応答も適宜行っています。
子ども理解とカウンセリング	塚原 拓馬	回答者からは一定以上の評価を頂いた。回答率が低いため今後はより積極的に回答を促すように努めたい。
社会心理学１（社会・集団・家族心理学 a）	水野 いずみ	社会心理学の内容におおむね興味を持って頂けたようで良かったです。次年度以降の各自の学習につながればと思います。
心理学研究法入門２（心理学統計法）	作田 由衣子 中山 友則	統計は内容も難しく大変だったと思いますが、頑張って取り組むことができました。ぜひ今後も他の授業やゼミでの活動などに活かしてください。
心理検査法２（心理的アセスメント b）	佐藤 恵美	この演習を受講いただき、ありがとうございました。
心理調査法２	水野 いずみ	前期に引き続き、粘り強く取り組めていました。次年度以降について、多くの気づきが得られました。
生活経済学	高橋 桂子	クォーター制での授業だったので週２回、徹底して勉強できました。「自分でなんでも主体的に考える力が身についた」「自分で説明できるようになるまで理解を深めると、記憶に長く残りやすいことを実感しました」という意見がある一方で、「小テストの内容やオンデマンド課題の説明が曖昧だった」とのご意見も。次年度は曖昧にならないよう、心がけます。
生活心理フィールドワーク２	塚原 拓馬 作田 由衣子 水野 いずみ	年間を通じて着実に取り組めていました。次年度以降の学習に活かしていきましょう。
生活心理フィールドワーク a	水野 いずみ	大変な授業だったと思いますが、積極的に取り組めていました。頂いた内容を次年度に活かします。
生活心理概論	作田 由衣子 塚原 拓馬	生活や調査と心理学を関連付けて学ぶことができたのではと思います。ぜひ、ゼミで研究テーマを決めるときなどにも、この授業で学んだことを活かしてもらえればと思います。
生活心理研究計画法	水野 いずみ	自身の進路に向けて、真摯に取り組めていました。
知覚・認知心理学 a	作田 由衣子	知覚・認知心理学は一般的な心理学のイメージとは異なる内容が多いので、心理学という学問について、少し視野が広がったのではと思います。日常的な体験とも関連しますので、ぜひ興味を持ってこの分野の本なども読んでもらえればと思います。